

＜活動報告書＞

フリガナ		ナゴヤシリツコウゲイコウトウガッコウ
①学校名		名古屋市立工芸高等学校
②担当者	フリガナ	
	氏名	
	所属 役職	建築システム科 教諭
	TEL	
	E-mail	
③申請テーマ		木材加工実習の安全装具導入
④活動期間		令和 6年 9月 ～ 令和 7年 1月
⑤活動内容 を記載		1年生 工業基礎 <木材加工実習> 初めてのノミ作業の授業の際、装着方法を説明し、実際に生徒が着用。 毎週、ノミ作業を実施の際には、着用することを徹底する。 着用することを忘れることが無くなった。 2年生 実技実習 <軸組加工・組立実習> 昨年度までは、保護具が無かったため、口頭指導のみであったが、 1年生と同様に作業開始時に装着方法を説明し、着用して授業を実施。 ただし、今まで着用せずに授業を実施していたため、間隔があいて しまうと忘れることがあり、何度も着用を指示することがあった。
⑥活動説明動画 の有無		ある ・ なし
⑦活動費用合計 ※シート②の「2.実績 額」の「①事業に要する 費用」の合計がリンク		570,906 円

＜活動状況写真＞

※原則「活動説明動画」の提出をお願いします。
「活動説明動画」を提出していただいた場合は「活動状況写真
の貼付、状況説明の記載」は不要です。

【写真1】



（状況説明）
1年生 <工業基礎>
保護具を着用することになれば、
ノミの作業は安全に実施され
た。特に、座る向きを注意する
生徒が減ったことは安全作業に
向けての大きな成果だった。

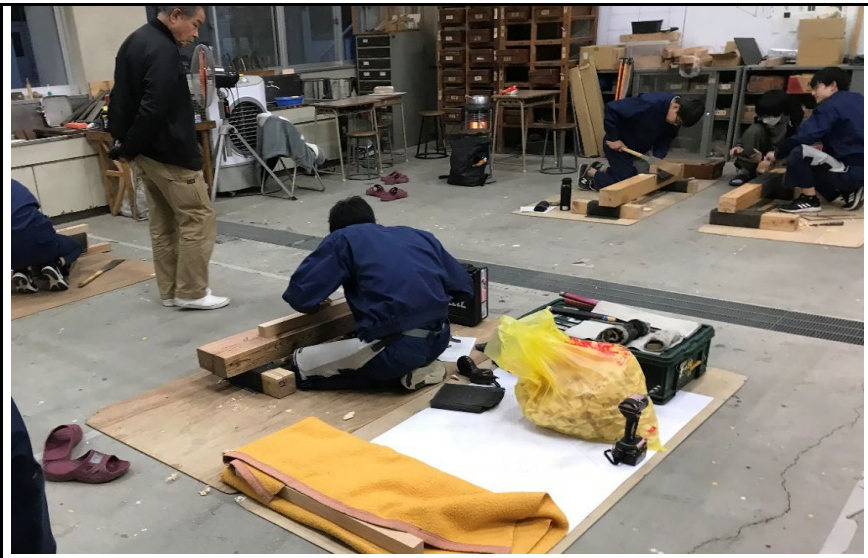
【写真2】



（状況説明）
2年生<軸組加工組立>

複数人で同一部材の作業をする
ため、安全により注意する必要
がある。ノミの作業をする際
には、保護具の着用を徹底した。

【写真3】



（状況説明）
受検希望者<建築大工技能検定
の練習>

昨年度までは、保護具を着用し
ていなかったが、今回の検定試
験より着用することとした。
練習より着用して訓練を実施し
た。